



2月29日  
水曜日

発行所 (〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21  
上毛新聞社  
電話 市外局番(027)  
(総合) 254-9911  
(編集) 254-9933  
(広告) 254-9944  
(販売) 254-3131  
(事業) 254-9955  
©上毛新聞社 2012年

# 技あり

鉄・非鉄の機械加工のユニマック(高崎市下滝町、岡田篤史社長)は、プラスチック金型や精密装置の部品を手掛ける。「切削をキーワードに幅広い注文に対応、高精度・微細な加工技術は県の「1社1技術」に選定された。

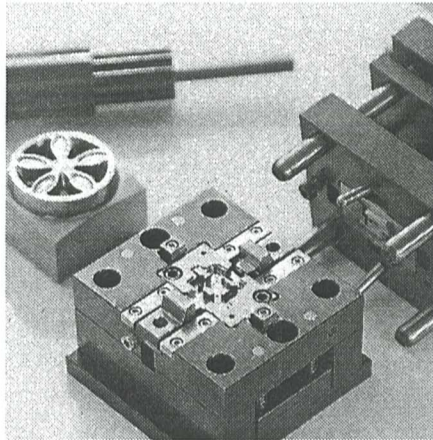


岡田社長

【ひと言】「仕事で自己実現する」が社是。できないことがあっても何度もトライする気持ちを大切にしている。

## 鉄・非鉄機械加工

ユニマック(高崎市下滝町)



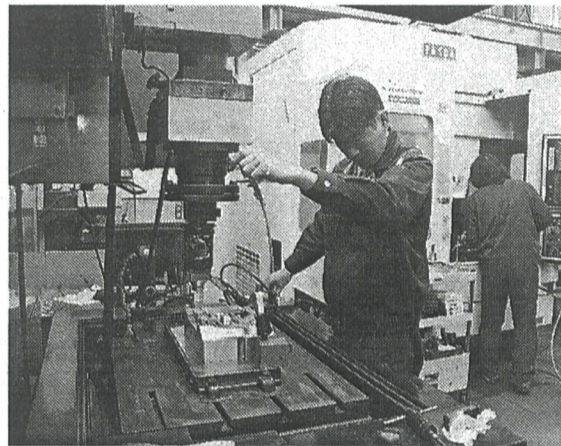
金型の模型(手前)と加工例

父の彰会長が1968年に創業した際は機械彫刻が主力だった。8年、自動車の内装をはじめとする複雑なプラスチック製品の金型製

が、金型部品の彫刻を「作が大きな柱」となっ受注するようになり徐々に事業内容を転換。75年には県内で初めて特殊な装置に使われる3次元の自動プログラ

ミング装置を導入し、鉄、ステンレス、銅、複雑な形状の加工を先駆的に行ってきた。その姿勢は今に生かされる。技術が求められる。

# 短納期、高品質に自信



金型製造や部品の加工が行われている工場

と部品、二足のわらじを履く企業は意外と少ない。並行して手掛けることで刺激が生まれ、相乗効果がある」と語る。

化学プラント装置の部品の加工が手に入る。岡田社長は「金型を積極的に参加、技術とサービスの両輪で受注のすそ野を広げる。県内外の展示会に積極的に参加、技術とサービスの両輪で受注のすそ野を広げる。

何に使う部品かを詳しく尋ね、顧客のニーズを満たす努力をする。出荷前には依頼がなくても製品の全寸法を計測し、一覧表を添える。「技術におこらず、短納期・高品質の加工サービス」と考える岡田社長ならではの気遣いだ。昨年からは県内外の展示会に積極的に参加、技術とサービ

### 工夫しました

設備投資を積極的に進めた結果、三次元形状の加工が得意となり、他社で設計された単品の部品でも早期に納品できる。プラスチック金型製造だけでなく鍛造、プレス、ダイカストといった金型の部品も長年製作している。

「ユニスeye8」を3月5日から開始すると発表した。平日午後8時から1時間の生番組で、外部からキャスターを招くという同社初の取り組み。



オールブラン  
デザイン一新

日本ケロッグ

高崎市に生産拠点を置く日本ケロッグ(東京都港区、長岡慶一代表職務執行者)は、ロングセラー商品の「オールブラン」シリーズのパッケージデザインを一新、全国で順次販